



【もずく早食い大会!! 北海道と宮崎県からの観光客も挑戦】

4 17 モズクの日 イベント大盛況

毎年4月の第三日曜日のモズクの日に行われるイベント（主催：連漁業協同組合、県もずく養殖業振興協議会）が、今年も勝連平敷屋漁港で行われました。

モズク生産量日本一の同漁協には、家族連れや友人、カップル、また、観光客も訪れるなど、大勢の方で賑わい、モズクつかみ取りや漁場見学、早食い大会などを楽しみました。

その日訪れた喜久山澄空くん（中原小学校3年）は、「今日の夕飯は、ぼくがもずくチャーハンを作る」と大量のもずくを両手に話しました。



【もずくパックでテープカット】



【世界をもずくで笑顔に!! もずくまん参上】



【もずくつかみ取り】



【もずくたっぷり沖縄そば】



環境保全型農業推進コンクール表彰式・シンポジウム



4 6 「N高等学校」伊計島で入学式

通信制の「N高等学校」（運営：学校法人角川ドワンゴ学園運営）の入学式が、伊計本校（旧伊計小中学校）と東京の2会場をインターネット中継でつないで開かれました。

現代のネット社会に対応した新しい高校で、インターネット活用して授業を行い、全日制高校と同じ卒業資格を取得することができます。

また、伊計本校にて、スクーリング（面接指導）が行われることから、伊計島を訪れる生徒と地元の方々との交流を通して、地域の活性化につながることが期待されます。

3 2 農林水産大臣賞 い草生産組合

平成27年度環境保全型農業推進コンクール（主催：農林水産省）の表彰式が3月2日に東京で行われ、本市のい草生産組合が最高賞の農林水産大臣賞（環境保全型農業）を受賞しました。

沖縄特有の厳しい自然環境の下で、150年以上にわたる伝統的作物の継承と環境保全が評価され、同賞の受賞にいたしました。

表彰式では、照屋守敬組合長が「先祖から受け継いできた農法を今後も継承し、より良いビークを後世までを目標に取組んでいきたい」と今後の展望を語りました。